

忘れられた叡智を求めて

第21回

人生において「成功者」と呼ばれる人々が、共通に持つ資質や能力とは、何か。

この興味深い問いに対して、一つの示唆を与えてくれる調査結果がある。

それは、これらの成功者が書いた数多くの自叙伝や回想録を集め、その中で、最も良く出てくる言葉、最も良く使われる言葉を分析した調査である。

しかし、その結果は、意外なものであった。

最も良く使われていた言葉は、「努力」や「信念」といった言葉ではなかった。

最も頻繁に使われていた言葉は、

「たまたま」

「ちょうどそのとき」

「ふとしたことから」

偶然の出来事に潜む
深いメッセージ

といった、「偶然の出来事」によって人生が導かれたことを語る言葉であった。

この話を聞くと、多くの人々は、素朴に、こう感じるのではないか。

成功者は、運が強い。

しかし、この調査結果を深く見つめれば、人生における叡智の世界が見えてくる。

なぜなら、優れた仕事を成し遂げ、人生の成功者と呼ばれる人物が共通に持つのは、単なる「運の強さ」ではなく、一つの優れた資質であることに気がつくからである。

それは、何か。

「意味を感じる力」

これらの人々は、その力を

持っていた。

偶然と見える出来事の中に大切な意味を感じ取る力。

そして、その出来事の中に自分を導く声を感じる力。

これらの人々は、その優れた力を持つていたのであろう。

例えば、たまたま、ある人物と出会う。そのとき、「この人と出会ったのは、なぜか。これは何かの配剤ではないのか。この出会いは、これから自分が歩むべき方向を教えてください。歩いてはならないか」と考える姿勢は、しばしば、その偶然を、良き機会に変えていく。

また、人生において計画を立て、何かを為そうとしている、ちょうどそのとき、ある



田坂広志

〔多摩大学大学院教授
シンクタンク・ソフィア
バンク代表〕

出来事が起こる。その出来事に対して、「これは、何を意味しているのか。この出来事は、自分に大切な何かを教えようとしている声ではないのか。それは、計画を変えよという声なのか」と考える姿勢は、小さな出来事をも、大きな機会に結びつけていく。

いや、それだけではない。その姿勢は、ときに失敗や挫折の経験さえも、学びと成長の機会に変えていく。

我々の人生は、思うに任せない。しかし、その思うに任せない偶然の出来事の中にこそ、これから歩むべき道について、深いメッセージが潜んでいる。

その深いメッセージの存在に気がついたとき、我々の人生の風景は、一瞬にして変わる。